

# 令和8年度 関東高等学校ヨット大会

## 大会装備検査規程

### 1 一般要件

- 1.1 本大会に参加するすべての艇はクラス規則及び本指示書、実施要項（レース公示に相当）、帆走指示書に含まれる規則に従い検査される。ただし、各規則間で検査上矛盾が生じる場合はクラス規則及び本指示書が優先する。

### 2 大会装備検査の流れ

6月12日（金） 大会装備検査を、以下のとおり実施します。

なお、6月12日（金）は、大会装備検査を終えていない艇は練習のため出艇できません（SIにも同様の指示があります）。

- ①大会装備検査シートへの記入 … 大会公式ページにアップしています「大会装備検査シート」を出場艇数分、参加校においてダウンロードして、艇ごとに太線枠内に記入しておいてください。（なお、大会受付時に、レガッタオフィス（艇庫）でシートを受けとることもできます。）
- ②受付（大会装備検査順申込み）… 各学校代表者は、レガッタオフィス（ヨットハーバー艇庫前）に掲出しています「大会装備検査順申込表」に、学校名・各艇種別大会装備検査艇数を記入してください。大会装備検査は受付順に行います。  
大会装備検査は、男女・種目を区別せず、学校ごとに行います。
- ③大会装備検査準備 … 下記 6 に従って大会装備検査の準備をしてください。また必要書類を用意して大会装備検査順をお待ちください。
- ④大会装備検査
- ⑤合格ステッカー貼付 … ステッカーまたはスタンプは、大会終了まで剥がさないでください。

### 3 大会装備検査場所について（天候により変更になる場合もあります）

大会装備検査は、艇置場に設置されます「テント付近」で行います。

### 4 大会装備検査順について

6月12日（金） 08:30～ 先着順に、大会装備検査順申込表に記入いただくことができます。なお、午前9時00分までに記入しなかった学校は、テクニカル委員会が大会装備検査順を指定します。

09:00～ 大会装備検査順申込表に従って大会装備検査します。

（大会装備検査準備が出来次第始めます。）

大会装備検査の進捗状況は、各自で、レガッタオフィス前のホワイトボードにて確認ください。

大会装備検査順が来たときに、大会装備検査準備が整っていない（大会装備検査所にはいない）場合、一番最後にまわっていただきますので、御理解ください。また、再検査になった艇は、最後にまわってもらうことになります。

※16:00～開会式ですので、15時までに大会装備検査を終えるように御協力ください。

## 5 必要書類について

- ① 大会装備検査シート（1艇につき、1枚）（**来場前に、大会ホームページからダウンロードしてプリントアウトしてください。**）
  - ※ 大会装備検査シートの、太枠内に必要事項を記入してください。
- ② 420級は、MC/MF、計測証明書
  - ※ 艇体とセール番号が異なる場合は、それぞれの「計測証明書」を持参してください。

## 6 大会装備検査物品について

各種目とも、大会装備検査する艇体、セール、スパー、艀装品、ライフジャケットは、1艇1セットです。予備の艇、セール、艀装品などを予め計測することはできません。  
なお、420級において、控え選手が着用するライフジャケットも持ち込んでください。

## 7 艇体、セール、スパー、艀装品などの大会装備検査準備について

### 7.1 各艇種共通の準備

- ①艇体重量大会装備検査は実施しませんが、艇・艀装品・セールは、可能な限り乾燥状態として下さい。
- ②セールは、セールバックから出しておくこと。  
**セール番号、セールボタン、基本計測サイン、バンドエンドリミットなどの確認**を行います。  
また、ボートカバー、セールバッグ、トラピースハーネス（420級）、工具など、大会装備検査に関係しない物は艇内に置かないでください。
- ③個人用浮揚用具（ライフジャケット・PFD）（スキッパー、クルー、控え選手）が、選手の体格にあっているか、確認を行います。計測場所には、登録選手全員が集まってください。来場前に、PFDのサイズを確認しておいてください。
- ④女子のセールについては、女子識別赤ダイヤ◆の確認を行います。
  - 女子で、ダイヤを付けていない艇は、参加申込時に購入を申し込めば、艇庫で購入することができます。
  - 男子は、赤ダイヤ◆を剥がすこと。
- ⑤以前の計測済みスタンプやシールははがす必要なし
- ⑥今大会においては、以前のインターハイで使用したセールの学校名、国スポの県名、県番号はがさなくて良い。国際大会の国旗もはがさなくてよい。企業名、スポンサーは一切認めない。
- ⑦420のバンドエンドはリベット止めではない。バンドエンドは、ブーム・マストのレール内に固定されているストッパーなどでなければならない。

### 7.2 420級の大会装備検査準備

- ①マストを立て、ジブセールを揚げておいてください。  
なお、大会装備検査当日、強風などでセールを揚げるが困難な状況の場合は別途指示します。  
センターボードは付けたまま、ラダーは艇に取り付けた状態で持ち込んで下さい。  
大会装備検査所では、艇を横倒しにして大会装備検査を行う場合があります。艇内に不要な物は持ち込まないように御協力ください。  
☆メインセールとスピナーカーのセール番号の同一を確認します。  
☆ラダーストッパーの確認を行います。  
☆メインセールストッパー（マストトップ、ブームエンド）の位置確認を行います。  
☆曳航ロープの長さを測ります。（すぐに長さを測ることができるようにしてください）
- ②420級のセールは、基本計測を終了し、クラス規則に適合していることを示す計測員のサインと計測を行った日付が記載されていることを確認します。
- ③スピナーポール長さ、補正重量（記載がある場合）の確認を行います。

### 7.3 ILCA級の大会装備検査準備

- ①日本レーザークラス協会の「計測を受ける際の注意点（ver4）」を事前に確認しておくことをお勧めします。
- ②ボトムマストを立て、ブームをセットした状態でブームバンク等コントロールロープ類を艀装

しておいてください。

トップマスト、センター、ラダーは艇体と一緒に持ってきてください。

☆マスト流れ止めロープもチェックしますので、つけておいてください。

☆曳航ロープの長さを測ります。（すぐに長さを測ることができるようにしてください）

③すみやかに大会装備検査をおこなえるよう、各パーツのクラスステッカーが見えるようにご協力をお願いします。（**来場前に、ステッカーの確認をお願いします。**）

④センターケース内の確認を行います。

⑤パテンの確認を行います。

センター、ラダーの形状、登録確認します。

## 8 大会装備検査後の流れ

①大会装備検査に合格した場合、「合格ステッカー」を貼付します。ステッカーは、大会終了まで剥がしてはいけません。ステッカーを故意に貼り替える行為は不正行為に当たるおそれがあります。

「大会装備検査シート」は返却しません。

②不合格の場合、「大会装備検査シート」を返却しますので、不合格箇所を修正後に再度、大会装備検査を受けてください。

③再検査は、全チームの通常大会装備検査が終わってから、受け付けることになります。

④検査が終了した艇体、艀装品及びセールはテクニカル委員長の書面による許可無く決められたエリアから持ち出してはならない。

## 9 艇、艀装品、セールの修理・交換について

9.1 大会装備検査終了後、クラス規則により任意に交換できるもの以外は、テクニカル委員会の承認を得ずに、修理・交換することはできない。

修理・交換の手続き（流れ）

①RRS.orgの「装備交換」に入力してください。なおオンライン登録ができない環境下では、テクニカル委員会で「修理・交換 再大会装備検査依頼書」を陸上本部で受け取り、記入後に「テクニカル委員会」（陸上本部）に提出することもできる。

②テクニカル委員会にて再大会装備検査の必要・不要を確認する。

再大会装備検査必要との指示を受けた場合、修理・交換完了後に、テクニカル委員会にて（修理・交換完了確認）、または（再大会装備検査）を行う。

9.2 艇、艀装品及びセールを修理しようとする艇は、上記にもある通り、必ず最初の適当な時期にテクニカル委員会に申告した後に、修理を行ってください。（S I 21.2）

9.3 申請が提出されたら、再検査は可能な限り速やかに行います。

9.4 大会本部では、艇、艀装品及びセールの修理、交換品の貸与はできません。また、修理道具等の貸し出し等はいりません。

## 10 水上大会装備検査及びピックアップ大会装備検査

各種目とも、水上にて任意に抜き取り、水上または陸上にて大会装備検査を行うことがあります。

水上では、対象となった艇は速やかにテクニカル委員（テクニカル・コミッテーパートは、緑色旗を掲揚）の指示に従い、艇体、セール、艀装品、スパー類、ライフジャケット等がクラス規則に適合し、大会大会装備検査合格品かどうかの確認を受けなければならない。

## 女子識別(赤ダイヤ)の貼付位置

420級(女子)

ILCA6級(女子)

両面に貼付する

